

企画展 生誕 120 年 別車博資 展 ～ゆかりの人々とともに～

4月11日(土)～6月28日(日)

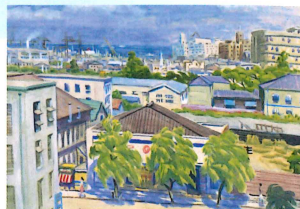
前期 4/11～5/17 後期 5/20～6/28

神戸ゆかりの水彩画家・別車博資

(1900～76)の代表作が集結します。

共に仕事をした小松益喜、川西英、
神原 浩、弟子の上尾忠生、田中徳喜

の作品など約130点を展示します。



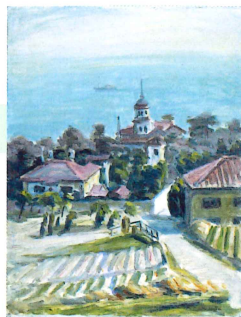
別車博資《神戸風景》1955年頃 個人蔵

企画展 風そよぐ

一川端謹次、小松益喜と
神戸ゆかりの画家たち一

7月11日(土)～8月30日(日)

風景画を中心に展示します。潮風にそよぐ葉や、路地裏に落ちる建物の影の中に、ひそやかに描き留められた風に注目します。



川端謹次《塩屋風景》1952年 当館蔵

特別展 無言館 遺された絵画からのメッセージ

9月12日(土)～11月29日(日)

戦後75年となる本年。戦争で亡くなった画学生たちの作品を収集・展示する長野県上田市の美術館「無言館」のコレクションより、常設されていない作品や兵庫県出身の戦没画学生の絵を展示します。



奥村 武(こおろき たけし)《編みものををする婦人》無言館蔵

特別展 花森安治『暮しの手帖』の絵と神戸

12月19日(土)～2021年3月14日(日)

前期 12/19～1/31 後期 2/3～3/14

1948年に『美しい暮しの手帖』(現・『暮らしの手帖』)の初代編集長となり、あらゆる分野で手腕を発揮した花森安治(1911～1978)は神戸市出身です。関西で初めて『暮らしの手帖』関係の資料を展示し、花森と神戸とのつながりを紹介します。



『暮らしの手帖』1世紀25号 1954年9月 暮らしの手帖社蔵

ご利用案内

企画展 入館料

一般	200円 (150円)
大学生 65歳以上	100円 (50円)

- * ()内は30名以上の団体割引料金
- * 高校生以下・神戸市居住の65歳以上の方、無料
- * 神戸ファッション美術館、小磯記念美術館の入館券(半券)をお持ちの方、割引
- * 特別展は別料金となります。

開館時間 午前10時～午後5時 (入館:午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、5月7日(木)
年末年始(12月29日～1月4日)

展示替等の臨時休館日 5月19日、6月30日～7月10日、9月1日～9月11日、12月1日～12月18日、2月2日、3月16日～3月31日